

「第 1 回民生委員・児童委員の選任要件に関する検討会」資料抜粋

令和 6 年 6 月 2 8 日 厚生労働省 社会・援護局

P19, P20 事前配付資料

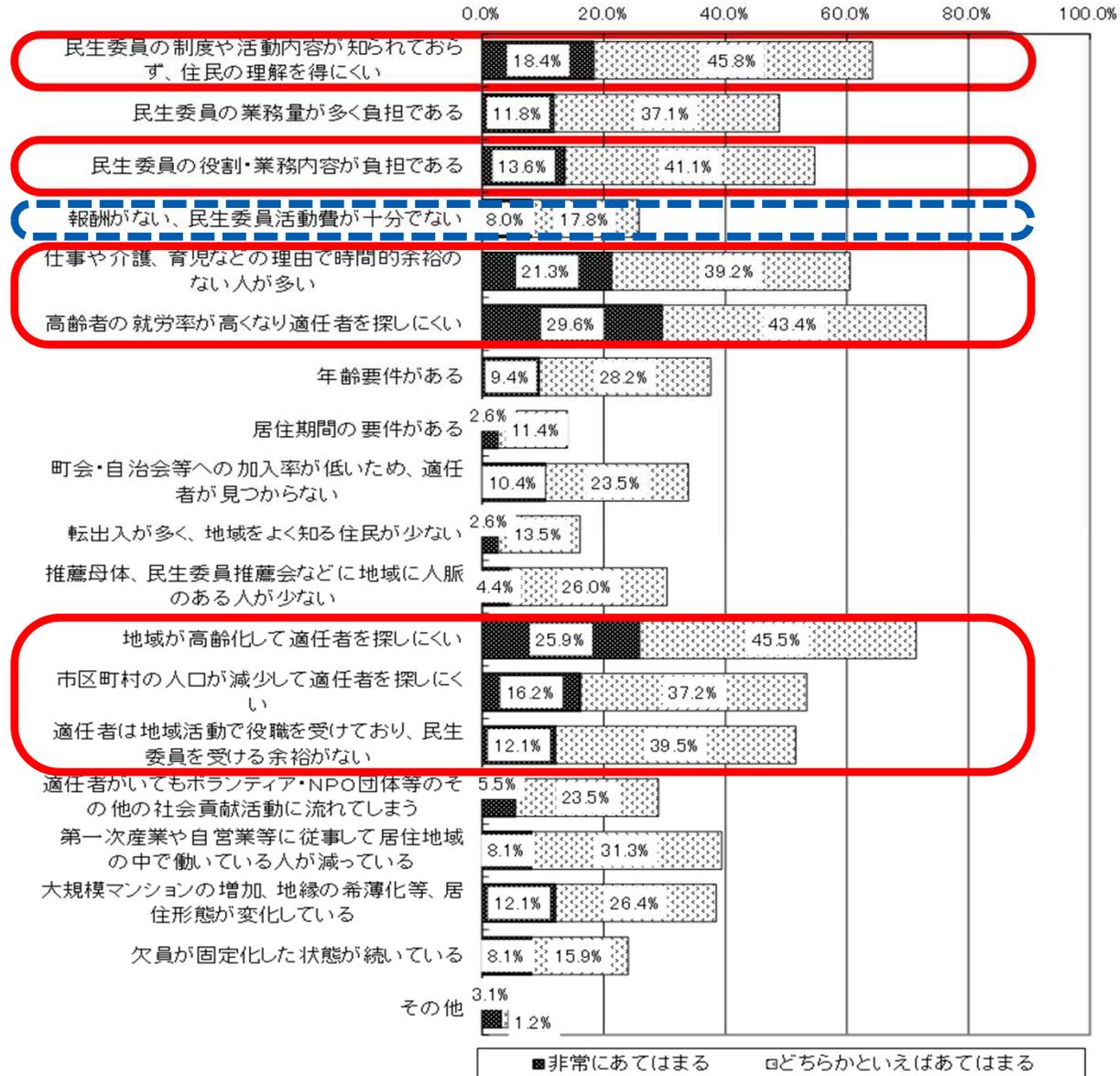
P23, P25 当日配付資料

民生委員の担い手確保が難しかった理由〈令和元年一斉改選時〉

○ 50%以上が「業務負担」「住民の理解」「高齢化」「高齢者の就労率上昇」等を挙げている。「報酬・活動費」は約25%。

図表 101 民生委員担い手確保が難しかった理由となる項目（令和元年度の一斉改選時） n=1,647

...「課題となった」と回答した割合が50%を超えているもの



調査対象：民生委員

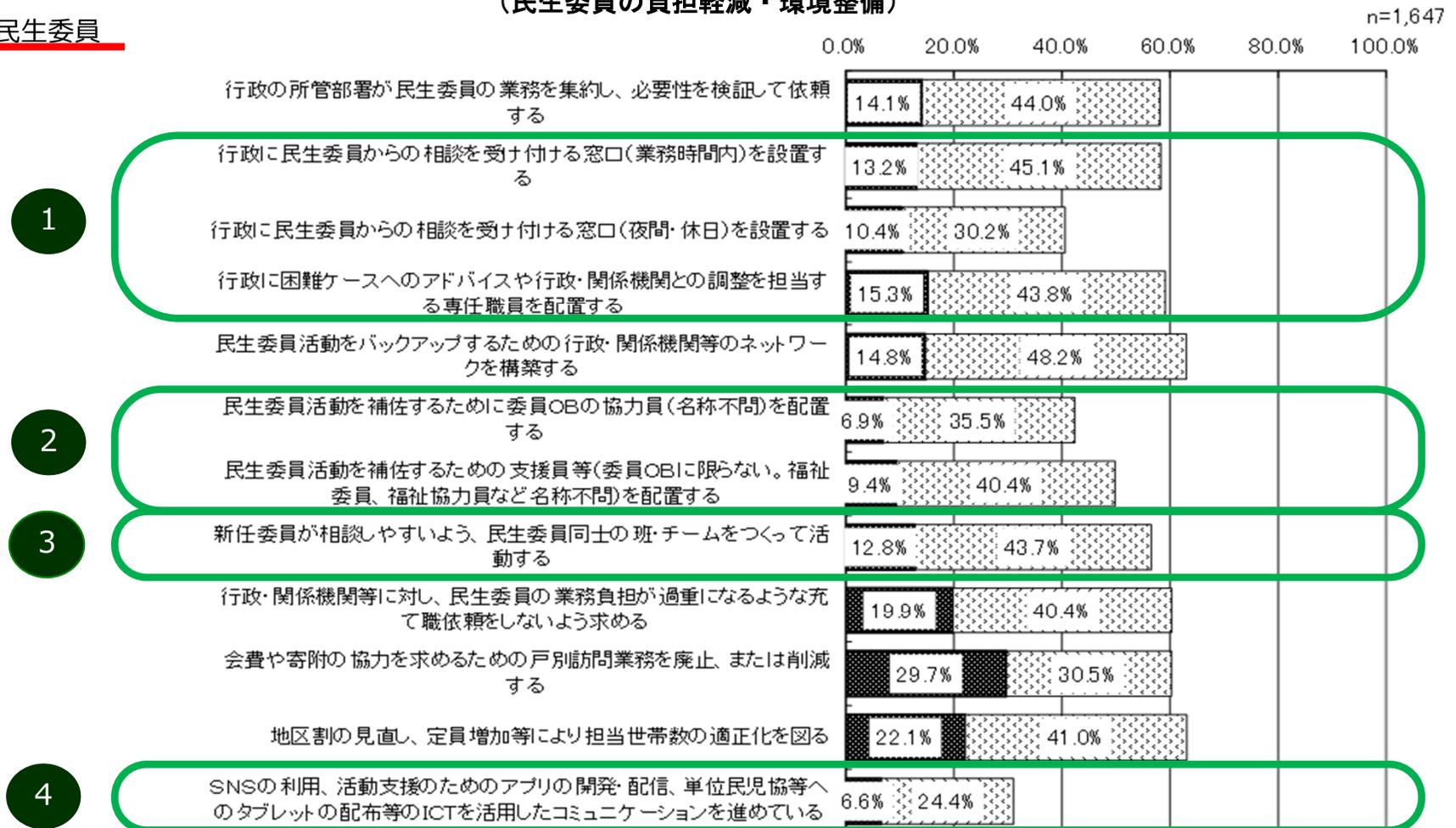
出典：令和2年度社会福祉事業費補助金「民生委員・児童委員の担い手確保に向けた取組に関する実態調査研究報告書」（文京学院大学）（2021）

民生委員の担い手確保に効果があると考えられるもの

- 「行政」や「協力員等」によるサポート体制の充実や、「班など複数人による活動」、「ICTの活用」等を求めるが挙げられている。

図表 110 民生委員の担い手確保に関して効果がある項目
(民生委員の負担軽減・環境整備)

調査対象：民生委員



出典：令和2年度社会福祉事業費補助金「民生委員・

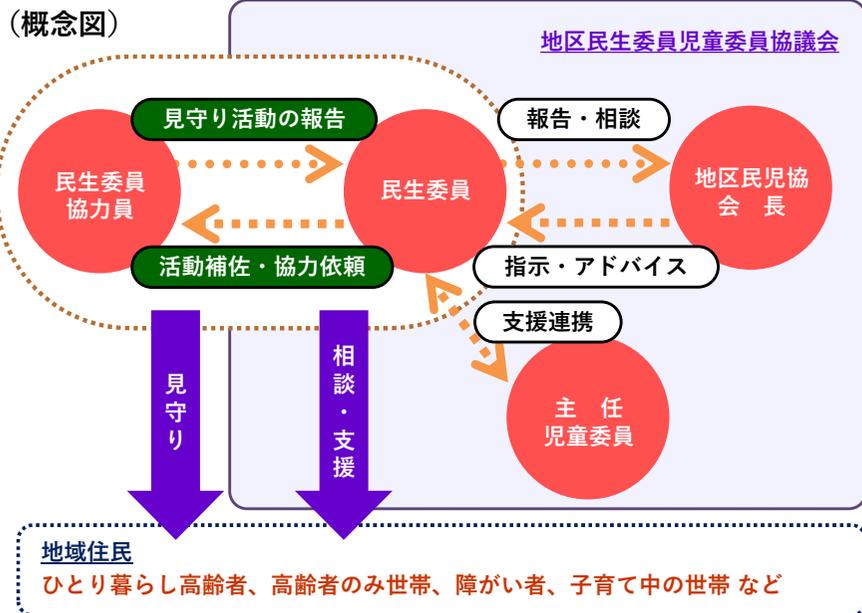
児童委員の担い手確保に向けた取組に関する

実態調査研究報告書」(文京学院大学)(2021)

② 民生委員協力員による活動サポート —新潟市の事例—

■新潟市の主要データ

基礎データ (令和4年12月末現在)	人口：773,914人 世帯数：347,609世帯
民生・児童委員 主任児童委員 (令和5年2月1日現在)	定数：1,229人／委嘱者数：1,174人 定数：146人／委嘱者数：146人



■取組(活動)のポイント、留意点

あくまでも活動の核となるのは民生・児童委員。民生委員協力員による補佐・協力を円滑に行うためには、民生・児童委員と民生委員協力員が主従関係ではなく、活動上のパートナーとして相互の連絡体制を構築することが重要。

■取組(活動)による効果

- 市内の民生・児童委員からは、以下の評価を得ている。
- ・活動が一人ではなく感じられ、心強く思える。
 - ・地域内の情報が手に入りやすくなった。
 - ・地域内の理解者が増えてきている実感がある。
 - ・民生委員協力員が異性の場合、異性の訪問対象に接しやすい。

■取組(活動)のきっかけ、経緯

ひとり暮らしの高齢者世帯等が増加する中で、民生・児童委員1人で担当することが困難な場合であっても、地域住民の協力を得ながら、助け合い支え合うことができる体制づくりが必要という問題意識から、新たな取組を検討。

■取組(活動)概要

民生・児童委員の指示・指導のもと、民生・児童委員が実施する見守り等の活動に対する補佐・協力を行う「民生委員協力員」を民生・児童委員1人につき1名を必要に応じて配置する。(令和5年2月1日現在：59名)

- ・民生委員協力員は、地区民生委員児童委員協議会会長の推薦により市長が委嘱。
- ・年額12,000円の活動費を支給。ボランティア活動保険にも加入。

■取組(活動)の主催団体

新潟市

■連携・協力機関等

地区民生委員児童委員協議会

■民生委員・児童委員の役割、関わり

民生委員協力員が実施する見守り等の活動に対する指示・指導(相談・調整)

■今後の展望・課題

多くの民生・児童委員が制度利用できるよう、引き続き、制度の周知・広報に努めていく。

④ ICTの活用（タブレット端末等の導入） —石川県野々市市の事例—

■石川県野々市市の主要データ

基礎データ (令和5年1月末現在)	人口：54,097人 世帯数：25,181世帯
民生・児童委員 主任児童委員	定数：89人／委嘱者数：88人 定数：10人／委嘱者数：10人

(活用事例)



①定例会資料のペーパーレス化

地域ICTプラットフォームサービスアプリ「結ネット」を活用し、各委員等に定例会開催案内通知や資料のデータを一斉送信。会議等への出欠確認にも活用。

②オンライン会議の実施

「ZOOM」を活用し、野々市市民児協主催の会議や研修会等をオンライン開催。(動画は社協ホストPCに保存しており、欠席者等の後日・随時閲覧も可能。)

③情報共有・緊急時の連絡

「LINE」を活用し、委員間の定期的会議や、事務局から各委員に向けた緊急時の連絡など、必要な情報の一斉送信による周知・情報共有。

■取組(活動)のポイント、留意点

端末利用説明会は「みんな初心者だからわからなくて当たり前」という雰囲気で開催し、金沢工業大学の支援を得ながら丁寧な研修を行った。また、「Web委員会」内に操作説明等の問い合わせ窓口を継続して設置しており、随時の支援体制を整備している。

■取組(活動)による効果

民生・児童委員の情報収集と共有、意見交換の迅速化が図られ、負担軽減に限らない活動全般への波及効果が期待できる。
また、就労しながら民生・児童委員活動を行うための環境が整備されることから、担い手不足解消の一助となる。

■取組(活動)のきっかけ、経緯

民生・児童委員の担い手不足改善に向けて、仕事をしながら委員活動をする人が参加しやすい環境づくりやペーパーレス化を推進するために「Web委員会」を設置。また、委員活動の負担軽減の観点から、金沢工業大学と連携し、タブレット端末の導入とICT活用の検討を開始。

■取組(活動)概要

市内全ての民生・児童委員と事務局員にタブレット端末とWi-Fiルーターを配布するとともに、金沢工業大学の学生のサポートにより、ICTの活用に不慣れな民生・児童委員に対して、端末利用説明会を開催。

タブレット端末等の購入経費は、野々市市からの補助金とコロナの影響により中止となった研修会経費を充当。通信費は、協議会活動費から捻出。

■取組(活動)の主催団体

野々市市民生委員児童委員協議会

■連携・協力機関等

野々市市、野々市市社会福祉協議会、金沢工業大学

■民生委員・児童委員の役割、関わり

民生・児童委員活動におけるタブレット端末の積極的な活用

■今後の展望・課題

定例会や研修会動画の蓄積により、一斉改選により新たに民生・児童委員として委嘱された初任者に対する研修を充実させていく。
また、本民児協は金沢工業大学と共同で活動記録のオンライン化を進めている。